

記念講演

10月24日(土) 9:45~10:25

第一部 次の50年のために

植物化学調節研究会設立の精神を振り返る 15
勝見允行(名誉会員)

植物化学調節学会 将来構想提言 16
松林嘉克(将来構想委員会委員長)

10月24日(土) 10:40~12:10

第二部 植物化学調節の基礎と応用

環境ストレス耐性賦与剤の展望〜いもち病防除剤から植物生長調節剤、そして環境ストレス耐性賦与剤へ 17
大塚 隆(日本農薬株式会社)

Plant Growth Regulators - Backgrounds and Uses in Plant Production 18
Wilhelm Rademacher (BASF SE)

植物バイオテクノロジーと化学的植物生長制御の統合 19
浅見忠男(副会長)

受賞講演

10月24日(土) 17:25~17:50

学会賞 アブシジン酸の代謝不活性化とシグナル伝達を制御する化合物の創出研究 20
轟 泰司(静岡大学農学部)

10月24日(土) 17:55~18:20

学会賞 イネと糸状菌の生理活性ジテルペノイド生合成とその制御に関する分子生物学的研究 21
豊増知伸(山形大学農学部)

10月24日(土) 18:25~18:45

奨励賞 アブシジン酸の代謝と受容に関する化学遺伝学的研究 22
岡本昌憲(鳥取大学乾燥地研究センター)

オーラル発表

10月23日(金) 12:05~13:35

S01 シロイヌナズナにおけるフェニル酢酸のオーキシシグナル伝達機構 23
菅原聡子¹、増口 潔¹、田中慧太¹、菱山正二郎²、酒井達也³、花田耕介⁴、木下(辻村)香織⁵、Hong Yu⁶、Xinhua Dai⁶、
竹林裕美子¹、武田(神谷)紀子¹、柿本辰男⁵、川出 洋⁷、夏目雅裕⁷、Mark Estelle⁶、Yunde Zhao⁶、林謙一郎⁸、神谷勇治¹、
○笠原博幸¹
(¹理研・環境資源科学セ、²森林総研、³新潟大・院、⁴九工大・情報工院、⁵大阪大・院、⁶Univ. California, San Diego、
⁷東京農工大院・連農、⁸岡山理大・生物化学)

S02 オーキシシグナル輸送担体 PIN の局在制御に関するケミカルツール 24
○大地啓寛¹、本瀬宏康²、野崎 浩¹、林謙一郎¹
(¹岡山理大院・生物化学、²岡山大院・自然科学研究科)

S03 ストリゴラクトン(4BD)がサトウキビの分けつ制御およびバイオマス生産に及ぼす影響 25
○上原直子¹、松原拓磨¹、川満芳信¹、浅見忠男²
(¹琉球大・農学部、²東大院・農生科・応生化)

S04 DWARF14ファミリータンパク質はストリゴラクトンを受容し不活性化する 26
○瀬戸義哉¹、亀岡 啓²、安井 令¹、曹 萌萌¹、Mulneh Tamiru³、寺内良平³、花田篤志¹、秋山康紀⁴、経塚淳子²、山口信次郎¹
(¹東北大院・生命科学、²東大院・農生科、³岩手生物工学研究センター、⁴大阪府大院・生命環境)

S05 ブラシノステロイド生合成阻害剤蛍光プローブの合成・生物活性(第3報) 27
○星 智樹^{1,2}、吉澤結子²、王 敬銘²
(¹秋田県立大院・生物資源、²秋田県立大・応用生物)

S06 サリチル酸シグナル伝達阻害剤の開発 28
○姜 凱、栗本哲哉、徐 銀卿、宮崎 翔、中嶋正敏、中村英光、浅見忠男
(東大院・農生科・応生化)

10月23日(金) 13:55~14:55

- S07 バレイシヨ塊茎形成におけるジャスモン酸類の働き 29
 ○井上悠敬¹、清水崇史²、高橋公咲¹、崎浜靖子¹、瀬尾光範²、松浦英幸¹
 (¹北大院農、²理化学研究所環境資源科学研究センター)
- S08 JA-Ile 輸送体候補遺伝子の探索と機能解析 30
 ○清水崇史¹、松井英諱^{1,2}、玄 康洙¹、中神弘史¹、瀬尾光範^{1,3}
 (¹理研・環境資源科学研究センター、²岡山大院・環境生命、³首都大院・生命)
- S09 ジャスモン酸共受容体サブタイプ選択的アゴニストの開発 31
 ○高岡洋輔¹、岩下利基¹、岩橋万奈²、林 謙吾²、鈴木健史¹、石丸泰寛¹、江越脩祐¹、上田 実¹
 (¹東北大院・理・化、²東北大・理・化)
- S10 ジャスモン酸類縁体を用いた行動制御によりアザミウマ防除体系の開発 32
 ○安部 洋¹、櫻井民人²、大矢武志³、川田祐輔³、松浦昌平¹、浅見忠男²、三富正明⁶、腰山雅巳⁷、富高保弘²、津田新哉²、小林正智¹
 (¹理研バイオリソースセンター、²中央農研、³神奈川県農業技術センター、⁴広島県立総合技術研究所農業技術センター、
⁵東京大学、⁶Meiji Seika ファルマ、⁷日本ゼオン)

10月23日(金) 15:15~16:45

- S11 窒素固定性シアノバクテリア *Nostoc* sp. を共生させるフェザームス *Pleurozium schreberi* が産生するホルモゴニア分化誘導因子の探索 33
 ○西塚紘明¹、Olle Zackrisson²、Thomas Deluca²、橋床泰之¹
 (¹北海道大院農・応生科、²Silver Museum, Sweden)
- S12 ネコブセンチュウの誘引現象に関与する宿主根由来物質に関する研究 34
 ○西川博崇¹、樋口侑夏¹、小川 舞¹、村瀬 潤¹、岩堀英晶²、近藤竜彦¹、小鹿 一¹
 (¹名大院・生命農、²九州沖縄農業研究センター)
- S13 地下部から長距離輸送される活性型サイトカイニンの地上部における機能解析 35
 ○大薄麻未^{1,2}、小嶋美紀子¹、竹林裕美子¹、木羽隆敏¹、榎原 均^{1,2}
 (¹理研・CSRS、²名大・生農科)
- S14 植物成長促進化合物 PPG の生理作用解析とターゲットタンパク質の探索 36
 ○田中翔太^{1,2}、藤岡昭三¹、久城哲夫²、長田裕之¹、篠崎一雄¹、浅見忠男^{3,4}、中野雄司^{1,4}
 (¹理研・CSRS、²明治大院・農芸化学、³東大院・農生科・応生化、⁴JST CREST)
- S15 ジベレリン信号伝達における DELLA-GAF1 複合体の標的遺伝子の探索 37
 ○深澤壽太郎、高橋竜平、藤井麻耶、三島由佳、高橋陽介
 (¹広島大・理・生物科学)
- S16 ABA の種子発芽阻害活性に 1 位カルボキシ基が必須ではない理由 38
 ○川崎優花¹、松橋みなみ²、三村尚毅¹、轟 泰司^{1,2,3}
 (¹静大院・農、²静大・農、³静大・グリーン研)

ポスター発表

10月24日(土) 13:30~14:00

- P021 トコン不定芽形成におけるオーキシンの極性輸送の影響 39
 ○小池衣茉莉¹、下村講一郎²、梅原三貴久^{1,2}
 (¹東洋大・生命科学・応用生物、²東洋大院・生命科学)
- P022 アントラニル酸および誘導体は不定根特異的発根促進活性を持つ 40
 ○眞木祐子¹、副島 洋¹、佐藤長緒²、綿引雅昭²、山口淳二²
 (¹雪印種苗(株)・技術研究所、²北大院・理)
- P023 ベンジキサジノイドによるトウモロコシの重力屈性メカニズムの解明 41
 ○須藤恵美¹、牧野 諱¹、山田小須弥²、長谷川剛²、長谷川宏司²、繁森英幸²
 (¹筑波大・院・生命環境、²筑波大・生命環境系)
- P024 ブラシノステロイドによる細胞壁強度の制御はシロイヌナズナ花茎の伸長・重力応答領域を調節する 42
 ○寛 雄介¹、山崎千秋^{1,2}、鈴木優志³、曾我康一⁴、保尊隆亨⁴、嶋田幸久¹
 (¹横浜市大・木原生研、²日本宇宙フォーラム、³東大院・農生科・応生化、⁴大阪市大院・理・生物)

P025	オーキシン極性輸送はヒメツリガネゴケの原系体成長を制御する	43
	○竹内直樹 ¹ 、大地啓寛 ¹ 、本瀬宏康 ² 、青山卓史 ³ 、野崎 浩 ¹ 、藤田知道 ⁴ 、林謙一郎 ¹ (¹ 岡山理大・生物化学、 ² 岡山大院・自然科学研究科、 ³ 京都大・化学研究所、 ⁴ 北海道大院・理)	
P026	モッコウ (<i>Saussurea costus</i>) に含まれるオーキシン極性移動抑制物質とその作用機構	44
	戸田雄太 ¹ 、岡田一穂 ² 、七村明宏 ² 、上田純一 ¹ 、○宮本健助 ^{1,3} (¹ 大阪府立大・院・理学系、 ² 大阪府立大・生命環境科学域・自然科学類、 ³ 大阪府立大・高等教育推進機構)	
P027	5-methyl-3-phenylisoxazole-4-carboxylic acid はオーキシシグナルを遮断する	45
	○鈴木優志、宮崎 翔、白井郁也、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	
P028	イネにおける新規オーキシン生合成阻害剤 PPBo の作用解析	46
	○中村郁子 ¹ 、佐藤明子 ¹ 、渡部真由 ¹ 、國土祐未子 ² 、石井貴広 ² 、菊地理絵 ¹ 、笈 雄介 ¹ 、添野和雄 ² 、嶋田幸久 ¹ (¹ 横浜市大・木原生研、 ² 農研機構・近中四農研)	
P029	SCF ^{TIR1/AFB} complex を介したオーキシン生合成のフィードバック制御機構	47
	○高藤 晋 ¹ 、三井麻里江 ¹ 、石田遥介 ¹ 、鈴木優志 ¹ 、笈 雄介 ¹ 、山崎千秋 ¹ 、石井貴広 ³ 、林謙一郎 ⁴ 、藤岡昭三 ² 、中村郁子 ¹ 、 持田恵一 ^{1,2} 、添野和雄 ³ 、嶋田幸久 ¹ (¹ 横浜市大・木原生研、 ² 理研、 ³ 農研機構・近中四農研、 ⁴ 岡山理科大)	
P030	ネジバナ内生菌量と生長制御物質の動態	48
	○加藤木ひとみ、藤森祥平、横島美香、佐藤誠吾、富田-横谷香織 (筑波大学)	
10月24日(土) 14:00~14:30		
P031	昆虫におけるインドール酢酸の生合成過程に関する研究	49
	○横山千晃、鈴木義人 (茨大・農・資源生物)	
P032	オカボノアアカブラムシのイネ根への寄生による褐変機構の解明	50
	○手林慎一 ¹ 、上田真二 ¹ 、森 梓紗 ¹ 、及川 彰 ^{2,3} 、佐々木亮介 ³ 、斉藤和季 ^{3,4} 、上手麻希 ⁵ 、間世田英明 ⁵ 、石原 亨 ⁶ (¹ 高知大農、 ² 山形大農、 ³ 理研 PSC、 ⁴ 千葉大院薬、 ⁵ 徳島大 STS 研究部、 ⁶ 鳥取大農)	
P033	シダ植物イヌカタヒバが生産するストリゴラクトンの探索	51
	○山口 慎、米山弘一、野村崇人、謝 肖男 (宇都宮大学・大学院・農学研究科)	
P034	植物による 5-deoxystrigol 立体異性体の水酸化反応とストリゴラクトン前駆体の探索	52
	○上野琴巳 ^{1,2} 、中寫 瞳 ¹ 、水谷正治 ¹ 、滝川浩郷 ¹ 、杉本幸裕 ¹ (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² 現鳥取大・農)	
P035	ソルガムにおける Sorgomol 合成酵素遺伝子の同定及び機能解析	53
	○石輪俊典 ¹ 、上野琴巳 ^{1,2} 、鈴木秀幸 ³ 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ¹ (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² 現鳥取大・農、 ³ かずさ DNA 研究所)	
P036	様々な植物におけるストリゴラクトン生合成の多様性の解析	54
	○井関萌絵、水谷正治、滝川浩郷、杉本幸裕 (神戸大院・農・生命機能科学)	
P037	ササゲにおける orobanchol 生合成遺伝子の解明に向けた RNA-seq 解析	55
	○森 采美 ¹ 、上野琴巳 ^{1,2} 、鈴木秀幸 ³ 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ¹ (¹ 神戸大院・農・生命機能科学、 ² 現鳥取大・農、 ³ かずさ DNA 研究所)	
P038	ストリゴール型ストリゴラクトン生産植物であるミヤコグサ及びワタの MAX1 酵素の機能解析	56
	○森 愛美 ¹ 、謝 肖男 ² 、野村崇人 ² 、米山弘一 ² 、秋山康紀 ¹ (¹ 阪府大院・生命環境、 ² 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)	
P039	ストライガ MAX1 の機能解析	57
	○米山香織 ^{1,2} 、森 愛美 ³ 、李 偉強 ⁴ 、謝 肖男 ¹ 、瀬戸義哉 ⁵ 、吉田聡子 ⁴ 、白須 賢 ⁴ 、秋山康紀 ³ 、山口信次郎 ⁵ 、米山弘一 ¹ 、 野村崇人 ¹ (¹ 宇都宮大・バイオ、 ² 日本学術振興会 RPD、 ³ 大阪府立大院・生命環境、 ⁴ 理研 CSRS、 ⁵ 東北大院・生命科学)	
P040	カーラクトン酸メチル化酵素の同定	58
	○小野塚祐太 ¹ 、北岡直樹 ¹ 、来生貴也 ¹ 、秋山康紀 ² 、瀬戸義哉 ¹ 、山口信次郎 ¹ (¹ 東北大院・生命科学、 ² 大阪府大院・生命環境)	

10月24日(土) 14:30~15:00

- P041 カーラクトン酸メチルはシロイヌナズナの老化葉に蓄積する 59
 ○東大野むつみ¹、森本 優¹、瀬戸義哉¹、秋山康紀²、山口信次郎¹
 (1東北大院・生命科学、2大阪府大院・生命環境・応用生命科学)
- P042 野生イネの地下茎形成におけるストリゴラクトンの影響 60
 ○北岡直樹^{1,2}、久間木孝史¹、梅原三貴久³、芦苺基行^{2,4}、瀬戸義哉^{1,2}、山口信次郎^{1,2}
 (1東北大院・生命科学、2JST/CREST、3東洋大院・生命科学、4名古屋大・生物機能開発利用研究センター)
- P043 シロイヌナズナにおける HTL/KAI2 経路の解析：新規変異体の探索とストリゴラクトンの構造活性相関研究 61
 ○赤津友基、瀬戸義哉、山口信次郎
 (東北大・院・生命科学)
- P044 ストリゴラクトンの非天然型立体異性体はイネの内生ストリゴラクトン量を増加させる 62
 ○田中 海¹、瀬戸義哉¹、亀岡 啓²、経塚淳子²、山口信次郎¹
 (1東北大院・生命科学、2東大院・農生科)
- P045 シロイヌナズナのストリゴラクトン信号伝達経路における *SMXL* 遺伝子の機能解析 63
 曹 萌萌、○櫻田 茜、瀬戸義哉、増口 潔、山口信次郎
 (東北大院・生命科学)
- P046 D14 と相互作用する転写因子・NF-YC の機能解析 64
 ○池上佳菜子、長江未有、高橋郁夫、中村英光、浅見忠男
 (東大院・農生科・応生化)
- P047 ストリゴラクトン類縁体の合成と構造活性相関：D14 による被加水分解性と生理活性 65
 ○呂 瑩、戸塚直哉、竹内 純、山野博之、福井康佑、中村英光、浅見忠男
 (東大院・農生科・応生化)
- P048 ストリゴラクトン受容体阻害剤の探索 66
 ○間下大樹志¹、小石原暉¹、中村英光¹、浅見忠男^{1,2}
 (1東大院・農生科・応生化、2JST/CREST)
- P049 ストリゴラクトン受容体阻害剤の創出 67
 ○竹内 純、浅見忠男
 (東大院・農生科・応生化)
- P050 根寄生雑草ヤセウツボの発芽過程における RNA-Seq によるトランスクリプトーム解析 68
 若林孝俊¹、村中俊哉²、杉本幸裕²、○岡澤敦司^{1,3}
 (1阪大院・工・生命先端、2神戸大院・農・生命機能、3阪府大院・生命環境・応用生命)

10月25日(日) 9:00~9:30

- P051 新規ブラシノステロイドミミックの活性評価 69
 ○Jutiporn Thussagunpanit¹、Kanol Jutamance²、Apichart Suksamram³、中野雄司⁴、浅見忠男¹
 (1東大院・農生科・応生化、2Dept. Bot., Fac. Sci., Kasetsart Univ., Thailand、3Dept. Chem., Fac. Sci., Ramkhamhaeng Univ., Thailand、4理研・CSRS)
- P052 葉面積拡大促進因子 BIL8 のブラシノステロイド情報伝達経路における機能解析 70
 ○山上あゆみ^{1,4}、中田元基^{1,2}、市川尚齊¹、松井 南¹、藤岡昭三¹、篠崎一雄¹、久城哲夫²、浅見忠男^{1,3,4}、中野雄司^{1,4}
 (1理研・CSRS、2明治大院・農芸化学、3東大院・農生科、4JST・CREST)
- P053 BIL1/BZR1 の核局在を促進する新規ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL7 の機能解析 71
 ○宮地朋子^{1,3}、市川尚齊¹、松井 南¹、藤岡昭三¹、篠崎一雄¹、浅見忠男^{2,3}、中野雄司^{1,3}
 (1理研・CSRS、2東大院・農生科・応生化、3JST-CREST)
- P054 イネのジャポニカ種およびインディカ種におけるファイトアレキシン、サクラネチンの蓄積 72
 ○北野生薫¹、西口沙也加¹、吉本理子²、中島廣光²、藪田行哲²、上中弘典²、寺石政義³、奥本 裕³、森 直樹³、石原 亨²
 (1鳥取大院・農、2鳥取大・農、3京大院・農)
- P055 Trehalose-induced Systemic Resistance (TSR) の分子基盤 73
 ○手塚大介^{1,2}、和久田真司²、加藤英樹¹、松浦英幸²、佐分利亘²、森 春英²、松井博和²、今井亮三^{1,2}
 (1農研機構・北農研、2北大院・農)
- P056 イネの *ent-KAURENE SYNTHASE LIKE 2* は *ent-beyerene* 合成酵素をコードする 74
 手塚大介^{1,2}、伊藤 瑛³、三橋 渉³、豊増知伸³、○今井亮三^{1,2}
 (1農研機構・北農研、2北大院・農、3山形大学・農)

P057	野生イネ <i>Oryza rufipogon</i> におけるモミラクトンとフィトカサンの生合成	75
	○岡田憲典 ¹ 、宮本皓司 ² 、藤田雅丈 ³ 、Matthew R. Shenton ³ 、菅原千都 ⁴ 、坂井亜莉里 ⁴ 、嶋根真奈美 ⁵ 、堀江清孝 ⁵ 、長谷川守文 ⁶ 、川出 洋 ⁵ 、三橋 渉 ⁴ 、野尻秀昭 ¹ 、山根久和 ² 、倉田のり ³ 、豊増知伸 ⁴ (¹ 東大・生セ、 ² 帝京大・バイオ、 ³ 遺伝研・植物遺伝、 ⁴ 山形大・農、 ⁵ 東京農工大・農、 ⁶ 茨城大・農)	
P058	イネのジテルペン型ファイトアレキシン生合成遺伝子クラスター形成の進化機構	76
	○宮本皓司 ¹ 、藤田雅丈 ² 、Matthew R. Shenton ² 、菅原千都 ³ 、坂井亜莉里 ³ 、嶋根真奈美 ⁴ 、堀江清孝 ⁴ 、長谷川守文 ^{4,5} 、川出 洋 ⁴ 、三橋 渉 ³ 、野尻秀昭 ⁶ 、山根久和 ¹ 、倉田のり ² 、岡田憲典 ⁶ 、豊増知伸 ³ (¹ 帝京大・バイオ、 ² 遺伝研、 ³ 山形大・農、 ⁴ 東京農工大・農、 ⁵ 茨城大・農、 ⁶ 東大・生セ)	
P059	野生イネ <i>Oryza rufipogon</i> におけるジテルペン環化酵素遺伝子	77
	○坂井亜莉里 ¹ 、菅原千都 ¹ 、宮本皓司 ² 、藤田雅丈 ³ 、Matthew R. Shenton ³ 、嶋根真奈美 ⁴ 、長谷川守文 ⁵ 、川出 洋 ⁴ 、三橋 渉 ¹ 、山根久和 ² 、倉田のり ³ 、岡田憲典 ⁶ 、豊増知伸 ¹ (¹ 山形大・農、 ² 帝京大・バイオ、 ³ 遺伝研、 ⁴ 東京農工大・連農、 ⁵ 茨城大・農、 ⁶ 東大・生物工学セ)	
P060	野生イネ <i>Oryza brachyantha</i> における <i>ent-kaurene synthase like 2</i>	78
	○伊藤 瑛 ¹ 、手塚大介 ^{2,3} 、宮本皓司 ⁴ 、藤田雅丈 ⁵ 、Matthew R. Shenton ⁵ 、三橋 渉 ¹ 、山根久和 ⁴ 、倉田のり ⁵ 、岡田憲典 ⁶ 、今井亮三 ^{2,3} 、豊増知伸 ¹ (¹ 山形大・農、 ² 農研機構・北農研、 ³ 北大院・農、 ⁴ 帝京大・バイオ、 ⁵ 遺伝研、 ⁶ 東大・生物工学セ)	

10月25日(日) 9:30~10:00

P061	イネにおけるモミラクトン輸送体遺伝子の探索	79
	○松浦 嵩 ¹ 、千葉光浩 ² 、菅野裕理 ² 、瀬尾光範 ² 、岡田憲典 ³ 、黒田昌治 ⁴ 、長谷川守文 ⁵ 、三橋 渉 ¹ 、豊増知伸 ¹ (¹ 山形大・農、 ² 理研・CSRS、 ³ 東大・生物生産工、 ⁴ 農研機構・中央農研・北陸研究センター、 ⁵ 茨城大・農)	
P062	Agroinfiltration 法を用いたテルペン生合成酵素の同定法	80
	○大西利幸 ^{1,2} 、井上智宏 ¹ 、田中智己 ¹ (¹ 静大院・農、 ² 静大・グリーン研)	
P063	イネの転写因子 DPF はジテルペン型ファイトアレキシン生合成において中心的な役割を果たしている	81
	○山村千紘 ^{1,2} 、水谷恵美 ^{1,2} 、岡田憲典 ³ 、鎌倉高志 ² 、山根久和 ^{3,4} 、高辻博志 ¹ 、森 昌樹 ¹ (¹ 農業生物資源研、 ² 東理大・理工、 ³ 東大・生物生産工学研究センター、 ⁴ 帝京大・バイオサイエンス)	
P064	イネ Diterpenoid Phytoalexin Factor のジャスモン酸誘導発現を担う新規転写因子の探索	82
	○堤 涼 ¹ 、宮本皓司 ² 、根本圭一郎 ³ 、澤崎達也 ³ 、森 昌樹 ⁴ 、山根久和 ² 、野尻秀昭 ¹ 、岡田憲典 ¹ (¹ 東大・生物工学セ、 ² 帝京大・バイオ、 ³ 愛媛大学 (PROS)、 ⁴ 生物研)	
P065	イネ病害抵抗性に関与する <i>OsPR7</i> と <i>OsPR8</i> の OsNTF1 転写因子を介した発現制御機構	83
	○平井洋行 ¹ 、宇野雄太 ¹ 、堀家史哉 ¹ 、奥山愛梨 ¹ 、国枝拓哉 ¹ 、仲下英雄 ¹ 、蔡 晃植 ¹ (¹ 長浜バイオ大院・バイオ、 ² 福井県立大院・資源)	
P066	イネの病害抵抗性を誘導するアシルスペルミジンの構造展開	84
	○山岸卓矢 ¹ 、岩川純也 ¹ 、山野博之 ¹ 、岡田憲典 ² 、浅見忠男 ¹ (¹ 東大院・農生科・応生化、 ² 東大・生物生産工学研究センター)	
P067	オオムギ属植物における防御関連二次代謝産物の分布	85
	○宇部尚樹 ¹ 、西坂美穂 ² 、武田 真 ³ 、石原 亨 ² (¹ 鳥取大院・農、 ² 鳥取大・農、 ³ 岡山大・資源植物科学研究所)	
P068	EF-Tu により誘導されるイネの免疫反応を特異的に阻害する化合物の探索	86
	○武岡啓伍 ¹ 、古川岳人 ¹ 、浅見忠男 ² 、蔡 晃植 ¹ (¹ 長浜バイオ大院・バイオ、 ² 東大院・農生科・応生化)	
P069	植物病害抵抗性抑制化合物の構造展開	87
	○栗本哲哉、姜 凱、徐 銀卿、中村英光、宮崎 翔、中嶋正敏、浅見忠男 (東大院・農生科・応生化)	
P070	イネの病害抵抗性に対するストリゴラクトンの影響の解析	88
	○森 貴将 ¹ 、草島美幸 ¹ 、浅見忠男 ² 、仲下英雄 ¹ (¹ 福井県大院・生資科・生資、 ² 東大院・農生科・応生化)	

10月25日(日) 10:00~10:30

P071	トマトの病害抵抗性に対するストリゴラクトンの影響の解析	89
	○奥村泰子、草島美幸、仲下英雄 (福井県大・生資)	

P072	ジャスモン酸の簡便な光学分割法	90
	○内田健一、宮本皓司、湯本絵美、酒澤智子、横田孝雄、山根久和 (帝京大・バイオ)	
P073	微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> の内生ジャスモン酸の測定と機能解析	91
	○加瀬大地 ¹ 、加藤翔太 ¹ 、湯本絵美 ¹ 、横田孝雄 ¹ 、山根久和 ¹ 、石川孝博 ² 、篠村知子 ¹ (¹ 帝京大学大学院・総合理工学研究科、 ² 島根大学生物資源科学部・生物資源科学研究科)	
P074	イネにおけるジャスモン酸生成誘導機構	92
	○石戸清貴 ¹ 、宮本皓司 ¹ 、酒澤智子 ¹ 、湯本絵美 ¹ 、柴田恭美 ¹ 、朝比奈雅志 ¹ 、横田孝雄 ¹ 、飯野盛利 ² 、岡田憲典 ³ 、山根久和 ¹ (¹ 帝京大・バイオ、 ² 大阪市大・理・植物園、 ³ 東大・生物工学セ)	
P075	GTR1 は傷害葉から非傷害葉への JA-Ile 移行に関与し、過剰な JA 応答を抑制する	93
	○及川貴也 ¹ 、石丸泰寛 ¹ 、鈴木健史 ¹ 、武右翔平 ² 、松浦英幸 ² 、高橋公咲 ² 、浜本 晋 ³ 、魚住信之 ³ 、清水崇史 ⁴ 、瀬尾光範 ⁴ 、 太田啓之 ⁵ 、上田 実 ¹ (¹ 東北大院・理、 ² 北大院・農、 ³ 東北大院・工、 ⁴ 理研・CSRS、 ⁵ 東工大・ELSI)	
P076	ジャスモン酸は Aux/IAA の分解を部位特異的に抑制し側根形成を阻害する	94
	○鈴木健史 ¹ 、石丸泰寛 ¹ 、Christian Meesters ² 、Erich Kombrink ² 、知念拓実 ³ 、臼井健朗 ³ 、高橋公咲 ⁴ 、松浦英幸 ⁴ 、林謙一郎 ⁵ 、 深城英弘 ⁶ 、上田 実 ¹ (¹ 東北大院理、 ² Max Planck Institute for Plant Breeding Research、 ³ 筑波大院生命環境、 ⁴ 北大院農、 ⁵ 岡山理科大理、 ⁶ 神戸大院理)	
P077	ゼニゴケの T-DNA 挿入変異株を用いた OPDA 作用機序に関する研究	95
	○大鹿 遼 ¹ 、西浜竜一 ² 、河内孝之 ² 、松浦英幸 ¹ 、高橋公咲 ¹ (¹ 北大院農、 ² 京大生命)	
P078	シロイヌナズナにおけるジャスモン酸シグナルを介した病害抵抗性シグナルにおける MYC2 の機能解析	96
	○草島美幸、仲下英雄 (福井県大・生資)	
P079	傷害時に放出される 2-ヘキセナールを生成するヘキセナールイソメラーゼの同定と機能解析	97
	○國嶋幹子、山内靖雄、水谷正治、杉本幸裕 (神大院・農・生命機能科学)	
P080	ジャスモン酸応答性転写因子 RERJ1 はイネの虫害抵抗性において揮発性物質の生産を制御する	98
	○茂手木敦史 ¹ 、河村奈央子 ¹ 、宮本皓司 ¹ 、山根久和 ² 、小澤理香 ³ 、高林純示 ³ 、Galits Ivan ⁴ 、新屋友規 ⁴ 、野尻秀昭 ¹ 、岡田憲典 ¹ (¹ 東京大学生物生産工学研究センター、 ² 帝京大学バイオサイエンス学科、 ³ 京大学生態学研究センター、 ⁴ 岡山大学資源植物科学研究所)	
10月25日(日) 10:45~11:15		
P081	花粉に含まれる蛍光物質の化学生態学(第3報)	99
	○森信之介 ¹ 、川上真理 ¹ 、大石雅典 ¹ 、故福井宏至 ² 、故後藤勝実 ³ 、月岡淳子 ³ 、佐久間正幸 ¹ 、刑部正博 ¹ 、杉岡稔朗 ¹ 、平井伸博 ¹ (¹ 京都大院農、 ² 香川大学名誉教授、 ³ 京都薬科大附属薬用植物園)	
P082	チガヤ根茎から単離された2つのアレロパシー物質	100
	○鈴木将彦 ¹ 、富永 達 ² 、加藤 尚 ¹ (¹ 香川大・院・農、 ² 京都大・院・農)	
P083	ダイズ道管液における長距離移行性ペプチドの探索	101
	○岡本 暁 ^{1,2} 、鈴木孝征 ^{2,3} 、川口正代司 ⁴ 、東山哲也 ^{2,3,5} 、松林嘉克 ² (¹ 理研・環境資源科学研究センター、 ² 名古屋大院・理、 ³ ERATO 東山ライブホロニクスプロジェクト、 ⁴ 基礎生物学研究所、 ⁵ 名古屋大・WPI-ITbM)	
P084	葉身細胞液胞中に蓄積されたベタニンの挙動とその機能性：ベタニンは細胞外へ移動できるか？	102
	○橋床泰之、羽馬大輔 (北大院・農・応生科)	
P085	葉身細胞液胞中に蓄積されたベタニンの挙動とその機能性：液胞に隔離されたベタニンはサイトゾルで機能できるか？	103
	○羽馬大輔、橋床泰之(北海道大院農・応生科)	
P086	植物成長促進剤である酢酸コリンを処理したシロイヌナズナにおける遺伝子発現プロファイル	104
	○神村麻友 ¹ 、小林 毅 ² 、蔡 晃植 ¹ (¹ 長浜バイオ大院・バイオ、 ² アグロカネショウ(株))	
P087	殺菌剤イソプロチオランに対するシロイヌナズナの初期応答の解析	105
	○井上真依、草島美幸、仲下英雄 (福井県大・生資)	

P088	チャ香気に関与するテルペン合成酵素の機能解明	106
	○井上智宏 ¹ 、渡辺修治 ² 、鈴木秀幸 ³ 、大西利幸 ^{1,4} (¹ 静大院・農、 ² 静大院・創造、 ³ かずさ DNA 研究所、 ⁴ 静大・グリーン研)	
P089	トマトにおける α -トマチン合成に関わるステロイド3位酸化異性化酵素の解明	107
	○李ヒョンゼ、小林 緑、中安 大、杉本幸裕、水谷正治 (神戸大院・農・生命機能科学)	
P090	チューリップの花粉特異的に発現するチューリップシロイド B 変換酵素	108
	○野村泰治 ¹ 、村瀬達紀 ¹ 、荻田信二郎 ^{1,2} 、加藤康夫 ¹ (¹ 富山県大・生工研セ、 ² 県立広島大・生命科学)	

10月25日(日) 11:15~11:45

P091	タケ懸濁細胞の木化に伴って発現するフェルロイルブトレッシン合成酵素の探索と機能解析	109
	○青島和音 ¹ 、野村泰治 ¹ 、荻田信二郎 ^{1,2} 、加藤康夫 ¹ (¹ 富山県大・生工研セ、 ² 県立広島大・生命科学)	
P092	ナシ果実成熟期の ACC 合成酵素遺伝子 (PpACS1) のプロモーター領域のメチル化解析	110
	藤井美希 ¹ 、羽生 剛 ² 、村山秀樹 ³ 、○板井章浩 ⁴ (¹ 鳥取大院連合農学、 ² 愛媛大農、 ³ 山形大農、 ⁴ 鳥取大農)	
P093	オオムギ矮性変異体 brachytic1 の解析	111
	○安田歩未、伊藤歩惟、山岡康輔、堅田雄也、上田美奈瀬、中山 明、本多一郎 (前橋工大・生物工学)	
P094	シロイヌナズナ切断花茎における時空間的遺伝子発現と植物ホルモンの解析	112
	中野渡幸 ¹ 、小倉健太郎 ¹ 、伴瀬真麻 ¹ 、松岡啓太 ¹ 、湯本絵美 ¹ 、横田孝雄 ¹ 、山根久和 ¹ 、佐藤 忍 ² 、○朝比奈雅志 ¹ (¹ 帝京大・理工・バイオ、 ² 筑波大・生命環境)	
P095	共焦点レーザー顕微鏡を用いたシロイヌナズナ芽生えの胚軸間接ぎ木の形態観察	113
	○松岡啓太 ¹ 、菅原恵理 ¹ 、田熊一貴 ¹ 、佐藤 忍 ² 、朝比奈雅志 ¹ (¹ 帝京大・理工・バイオ、 ² 筑波大・生命環境)	
P096	ヒメツリガネゴケ原系体の分化に関与するジベレリン様成長制御物質の解明	114
	○宮崎 翔 ¹ 、Che-Dong Yang ¹ 、Seung-Hyun Park ¹ 、川出 洋 ² 、林謙一郎 ³ 、浅見忠男 ¹ 、中嶋正敏 ¹ (¹ 東大院・農生科、 ² 東京農工大院・農、 ³ 岡山理大・理)	
P097	オーキシン応答を調節するアブシジン酸シグナル伝達系の解析	115
	○永利友佳理 ¹ 、ト 滋慶 ^{1,2} 、小賀田拓也 ¹ 、藤田泰成 ^{1,2} (¹ 国際農研・生物資源利用、 ² 筑波大・生命環境)	
P098	根寄生雑草ストライガの宿主からの同化産物の収奪にはアブシジン酸に対する気孔応答の異常が関与している	116
	○井上知恵 ^{1,2} 、鮫島啓彰 ¹ 、上野琴巳 ^{1,3} 、Abdel Gabar Babiker ⁴ 、杉本幸裕 ¹ (¹ 神戸大院・農、 ² 鳥取大・乾燥地研究センター、 ³ 現鳥取大・農、 ⁴ スーダン科学技術大学)	
P099	アブシジン酸に対するストライガの発芽と気孔の応答	117
	○藤岡 聖 ¹ 、井上知恵 ¹ 、鮫島啓彰 ¹ 、上野琴巳 ^{1,2} 、水谷正治 ¹ 、杉本幸裕 ¹ (¹ 神戸大・院・生命機能化学、 ² 現鳥取大学・農)	
P100	ABA 代謝酵素遺伝子に関するコムギ準同質遺伝子系統の開発とそれらの発芽特性	118
	○蝶野真喜子 ¹ 、松中 仁 ² 、関 昌子 ³ (¹ 農研機構・作物研、 ² 農研機構・九沖農研、 ³ 農研機構・中央農研)	

10月25日(日) 11:45~12:03

P101	シロイヌナズナのストレス適応に密接に関わるモリブデン補酵素硫化酵素 ABA3 の生理的な多機能性の検証	119
	○渡邊俊介 ¹ 、坂本 敦 ² 、瀬尾光範 ¹ (¹ 理研 CSRS、 ² 広島大・院理)	
P102	ABA 受容体を利用したコムギの乾燥ストレス耐性の向上	120
	○妻鹿良亮 ¹ 、安倍史高 ² 、花田耕介 ³ 、岡本昌憲 ¹ (¹ 鳥取大・乾燥地研、 ² 農研機構・作物研、 ³ 九工大・若手研究者フロンティア研究アカデミー)	
P103	ABA 受容体 PYL の強力なアンタゴニスト PAN-H の奇妙な生物活性	121
	○三村尚毅 ¹ 、朝比奈尚紀 ² 、川島徳晃 ² 、岡本昌憲 ³ 、大西利幸 ^{1,2,4} 、轟 泰司 ^{1,2,4} (¹ 静大院・農、 ² 静大院・総科技・農、 ³ 鳥取大・乾燥地研究センター、 ⁴ 静大・グリーン研)	
P104	ABA 受容体 PYL の強力なアンタゴニスト PAN-Me の機能研究	122
	○朝比奈尚紀 ¹ 、三村尚毅 ² 、岡本昌憲 ³ 、大西利幸 ^{1,2,4} 、轟 泰司 ^{1,2,4} (¹ 静大院・総科技・農、 ² 静大院・農、 ³ 鳥取大・乾燥地研究センター、 ⁴ 静大・グリーン研)	

- P105 単子葉植物に対して強い ABA 様活性を示す ABA 受容体 PYL アンタゴニスト PAN-SF5 123
○川島徳晃¹、三村尚毅²、岡本昌憲³、大西利幸^{1,2,4}、轟 泰司^{1,2,4} (¹静大院・総科技・農、²静大院・農、³鳥取大・乾燥地研究センター、⁴静大・グリーン研)
- P106 ABA 代謝不活性化の新規阻害剤アブシナゾール E3M の機能研究 124
○増田淳也¹、妻鹿良亮²、岡本昌憲²、轟 泰司^{1,3} (¹静大院・農、²鳥取大・乾燥地研究センター、³静大・グリーン研)